

第三十一回 帝國議會 貴族院議事速記録第四號

明治四十四年度各特別會計歲入歲出決算検査報告

大正三年二月三日(火曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第四號 大正三年二月三日

午前十時開議

第一 災害地地租免除法案(政府提出、衆議院送付)

第二 改租延納年賦金免除ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第三 帝國大學特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會
第一讀會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔河井書記官朗讀〕

去月二十八日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

擔保附社債信託法中改正法律案

去月二十九日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

災害地地租免除法案

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表第二回報告書

去月三十日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

帝國大學特別會計法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵榎本 武憲君 副委員長 男爵北島 齊孝君

遠洋漁業遊勵法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵奥平 昌恭君 副委員長 村田 保君

帝國大學特別會計法中改正法律案可決報告書

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昨二日政府ヨリ左ノ決算及同検査報告ヲ提出セリ

明治四十四年度歲入歲出總決算

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、茲ニ最モ悲ムベキコトニ付テ御詔リヲ致シマス、去月三十日三條公爵ガ薨去セラレマシタ、誠ニ痛歎ノ至ニ堪ヘマセヌ、右ニ依テ本院ヨリ弔辭ヲ贈ルコトニ付テ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 外務大臣牧野男爵

〔國務大臣男爵牧野伸顯君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 諸君、茲ニ帝國外交方針及其經過ノ大要ニ就キマシテ陳述スル機會ヲ得マスノハ私ノ光榮トスル所デゴザイマス、帝國ト締盟各國トノ國際關係ガ、益々親善ノ狀態ニ在ルコトハ、過日總理大臣ヨリ陳述ニナツタ通リノ次第デアリマシテ、殊ニ支那ニ於キマシテ東亞ノ秩序ヲ維持スル爲ニ、列國政府ト協力スルコトヲ得マシタノハ、大局ノ上ニ甚ダ満足スル所デゴザイマス、支那ノ獨立及領土保全、機會均等等ノ主義ニ付キマシテハ、現内閣モ均シク恪守スル所デゴザイマシテ、英國トノ同盟協約ノ如キモ其目的ハ此根本義ヲ確立スルニ外ナラヌノデアリマシテ、近ク支那ノ動亂モ鎮靜ニ歸シマシタルコトハ、是ハ獨リ支那ノ爲ノミナラズ、世界ノ爲ニ誠ニ慶賀ニ堪ヘヌ次第デアリマスルガ、右ニ對シマシテ此同盟ノ與テ力ノアッタコトハ何人モ認メテ居ルコト、信ジマス、又將來東亞ノ秩序ヲ維持シマス上ニモ、此同盟ノ效力ニ俟タナケレバナラスト考ヘテ居リマス、帝國政府ハ露西亞トノ協約ニ基キマシテ、常ニ支那ニ於テ利害ノ接近スル地方ノ問題ニ付キマシテハ、平素意思ノ交換ヲ怠ラヌノデアリマス、爲ニ兩國ノ國交モ益々親善ヲ加付テハ、條約上其他ノ關係ニ於キマシテ特別ノ位地ヲ有シテ居リマス、殊ニ該地方ハ我領土ト境ヲ接シテ居リマシテ、他ノ支那ノ地方トハ自ラ趣ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマス、此特別ノ地位ヲ確保スル爲ニ、特別ノ注意ヲ拂フテ居リ、且必要ナ場合ニ於キマシテハ、關係者ニ向テ此特別ナル事情ハ言明ヲ致

シテ居ルノデアリマス、又支那ノ全局ニ於キマシテハ、經濟上ノ方面ニ於テ我實力ノ根柢ハ大ニ鞏固ニナリマシテ、貿易上海運上非常ナ進歩ヲ告ゲマシテ、又在留本邦人ノ數モ著シク増加イタシマシテ、其地盤モ次第固クナリマシテ兩國ノ實業上ノ緊切ナル傾向ヲ來シテ居ルコトハ誠ニ欣ブベキ次第デアリマシテ、此傾向ヲ援助シマスコトハ帝國ノ利益ヲ増進スル上ニ最モ必要ナ條件デアリマスカラ、帝國政府ニ於キマシテハ對支政策上、常ニ此點ニ留意ヲ致シテ居ル次第デアリマス、是ヨリ支那及其他ノ地方ニ於キマシテ、外交上重要ナ事件ニ關シ御報告ヲ申上ゲマス、借款問題ニ付キマシテ……支那ニ共和政府ガ樹立セラレマシテ多額ノ行政費ヲ要シタノデアリマス、當時ノ支那ノ歲入ハ殆ド杜絶サレテ居ル姿デアリマス、爲ニ當時ノ國務總理唐紹儀ハ四國銀行團ニ對シマシテ六千万磅ノ大借款ヲ申込ンダノデアリマス、此四國銀行團ハ此申込ヲ受ケマシテ、支那ニ最モ利害ノ關係ノアル日露兩國ノ資本家ト共同シテ此請求ニ應ズルコトヲ適當ナリト見マシテ、日露兩國ノ資本家ニ誘引致シテ來タノデアリマス、此當時ノ有様ハ……支那ノ狀態ハ、支那ノ國運ハ偏ニ此借款ノ成立ニ俟ツト云フ有様デアリマシテ、且又此四國銀行團ハ既ニ支那ニ於キマシテ數億万兩ノ債權ヲ有ッテ居リマス、從ツテ支那ノ財政ノ將來ニ付テハ痛切ナル利害ヲ感ジテ居ルノデアリマス、又四國政府モ債權ノ保全ニ付キマシテハ援助ヲ惜マナイ狀態デアリマシタノデアリマス、旁、此邊ノ事情ニ顧ミマシテ、帝國政府ハ我銀行團ガ此案内ニ參加シテ提携シテ此事業ニ當ルコトヲ帝國ノ利益ニ適フモノト認メマシテ、此案内ニ參加スルコトヲ勸誘イタシタノデアリマス、銀行團ハ參加スルコトニ決定イタシマシテ、三月……一昨年ノ三月之ニ申込ンダノデアリマス、此際ニ於キマシテ政府ハ銀行團ヲシテ南滿洲、東部内蒙古ノ特別ナ事情ニ顧ミテ保留サセルコトニナツタノデアリマス、此銀行團ハ……此借款問題ハ六七箇國ノ對手ヨリ成立ツテ居リマシテ、多少其間ニ利害ヲ異ニスルト云フコトモアリ、餘程複雜ナル事業デアリマシガ、帝國政府ニ於キマシテハ一タビ之ニ加入スルヤ否ヤ其目的ヲ達スルコトニ努メマシテ、幸ニ借款ノ成立ヲ告ゲタノデアリマスガ、此間ニ於テ貢獻スルコトハ少クナカツタ考ヘテ居リマス、昨年ノ三月宋教仁ノ遭難以來、袁世凱派ト國民黨トノ間ニ甚シク軋轢ヲ致シマシテ、其結果、支那國內ハ再び動亂ヲ見ハシナイカト云フ徵候ガ現ハレタノデアリマス、其時ニ際シマシテ政府ハ成ルベク未然ニ事ヲ防ギマシテ、速ニ時局ヲ收メルコトヲ帝國ノ利益ト考へ

マシテ、屢々我公使及當該領事ヲシテ支那ノ政府ノ責任者ニ向ヒマシテ、此際過激手段ニ陷ラスヤウニ、過激手段ニ陥ツタ爲ニ支那ノ新制度ノ基礎ヲ危クシテ東亞ノ大局ニ累ヲ來タス虞ガアルカラシテ、成ルベク慎重ニ事ヲ處スルヤウニト云フコトヲ、誠意ヲ披瀝イタシテ勸告セシメタノデアリマス、其當時ノ國內ノ事情ハ遂ニ不幸ニシテ兩者ノ衝突ヲ餘儀ナクセシメマシテ、七月ニ至リマシテ南京ノ動亂トナリ、楊子江沿岸全體ノ騷亂ヲ見ルニ至ッタノデアリマス、此場合ニ於テ政府ハ不偏不黨ノ方針ヲ明瞭ニ致ス必要ヲ認メマシテ、ソレヽ關係ノ向ニ其趣意ヲ訓令シ、又動亂管轄地方ノ我領事館ニ向ヒマシテ、本邦人ノ其戰鬪ニ參加シ若クハ武器或ハ資金ヲ調達供給スル如キコトノナイヤウニ、嚴重ニ取締ルベキ訓令ヲ與ヘマシタ、又其趣意ヲ一般ニモ公示イタシタノデアリマス、然ルニ其後動亂ノ形勢ハ變リマシテ、九月ニ南京ノ陥落ト共ニ終局ヲ見ルニ至ッタノデアリマス、袁州事件及漢口事件ハ共ニ帝國ノ陸軍ノ面目ヲ損シマシテ重大ナル侮辱ヲ加ヘラレマシタモノデアリマス、又南京陷落ノ際、本邦人ニ對スル掠奪虐殺ノ行爲ハ暴行ノ甚シイモノデアリマス、甚ダ帝國ノ威嚴ニ關スル次第デアリマスカラ。速ニ支那政府ヲシテ其責ニ當ラシメナケレバナラヌト考ヘマシテ、又其事件ノ性質モ能ク考慮リ、日支兩國ノ特別ノ關係ト云フコトモ考慮ヲ加ヘマシテ、東亞ノ大局ニ何レモ影響ヲ有ツコトデアリマスカラ、其邊ノコトヲ能ク考慮ヲ重于マシテ、此事件ノ性質ヲ超エナイ限ニ於テ、我要求條件ヲ作成イタシマシタ、即チ其要點ハ帝國ノ軍隊ノ威信面目ヲ保持スルコト・帝國臣民ノ被リマシタ損害ヲ救濟スルコト、ソレカラ將來斯ノ如キ事件ノ發生シナイヤウニ當該責任者ヲ十分嚴重ニ處罰スル、此三ツノ要點ヲ掲ゲマシテ要求條件ヲ編成イタシタノデアリマス、之ヲ以テ昨年ノ十月ノ十日支那政府ニ提議イタシマシテ、十三日ニ至リマシテ其要求條件ハ盡ク承諾スルト云フコトデアリマシタ、續イテ其條項ノ數々ノ實行イタシタ顛末ハ既ニ昨年ノ十月十日及本年ノ一月六日ニ公表イタシタ通リデアリマス、支那共和國ノ承認問題ニ付キマシテハ、支那ノ國情ガ之ヲ許スニ至ラバ、列國政府ハ成ルベク同時ニ且同様ノ形式ヲ以テ之ヲ承認スルガ得策デアルト政府ニ於テハ考ヘマシテ、其趣ヲ以チマシテ一昨年ノ二月英、佛、獨、露、奧、伊、米ノ七箇國ニ之ヲ提議イタシマシタ所ガ、大體何レモ主義ニ於テ同意ヲ表シテ參ツタノデアリマス、其後支那ノ國情モ段々改

善ニ向ツテ參リマシタカラシテ、支那ノ新政府ニ於テ條約上及慣行上ニ於テ從來列國ニ負フ所ノ責務ヲ遵守スルト云フ事實ガ明瞭ニナツタナラバ、同文ノ公書ヲ以テ新政府ヲ承認シタガ宜カラウト云フコトヲ重ねテ列強政府ニ提議ヲ致シマシタノデアリマス、又續イテ北京ノ山座公使ヨリシテ此事件ニ付キ協議會ヲ開クコトノ要求ガアツタ場合ニハ、北京ノ各國公使ハ之ニ應ズルヤウニ豫ネテ訓令ヲ致シテ貰ヒタイト云フコトヲ、是亦列強政府ニ申込ンデ置イタノデアリマス、昨年ノ九月三十日及十月一日ノ兩度ニ於キマシテ愈々北京ニ於外交團會議ヲ開クコトニナリマシタノデアリマス、此場合ニ於キマシテ山座公使ハ支那側カラ大總統ガ就職シタト云フ宣言ヲ爲ス場合ニ於テ、此宣言書中ニ、先刻モ述べマシタ列國ニ對スル條約上及慣行上ノ責任ヲ確認スルト云フ聲明ヲ加ヘルコトニシテ、サウシテ其宣言書ヲ大總統ノ選舉ノ通知ト同時ニ、之ヲ各國ノ公使館ニ送付シテ來タナラバ、各國公使ハ直チニ同文ヲ以テ之ヲ承認スルガ宜カラウト云フ議ヲ持出シタノデアリマス、デ列席ノ各國公使ハ皆一致ヲ以チマシテ之ニ同意ヲ表シマシテ、遂ニ此支那側トノ交渉及其实文公書ノ起草等ハ山座公使ニ一任セラル、コトニナツタノデアリマス、十月初ノ目的ノ通り運ンダ譯デゴザイマス。是ヨリ加州問題ニ付キマシテ申上ゲマス、加州議會ニ於キマシテハ過去十數年ノ間、毎期必ズ排日議案ガ現ハレト共ニ、中合セタ通リノ手續ヲ以テ之ヲ承認イタシタノデアリマス、即チ最初ノ目的ノ通り運ンダ譯デゴザイマスガ。昨年ノ議會ニ於キマシテ遂ニ日本人不動產所有ヲ禁ズル、謂ハユル「ウエツブ」案ナルモノガ大多數ヲ以テ可決ナレマシタ、五月十九日ニ知事ノ署名ヲ得マシテ、八月十日ヨリ之ヲ實ニ依リマシテ、事ナキヲ得タノデアリマスガ。日本人ニ對シマシテ外國人ニ比ベマスト、差別取扱ヲ爲スト云フ實質ガアルノデアリマシテ、政府ニ於テハ之ヲ默視スルコトガ出來マセヌカラシテ、兩國ノ政府ノ間ニ重大ナル交渉ガ成立ツタノデアリマス、即チ此交渉中ノ主題トナツタノモ、此差別取扱ト云フ點ガ其重ナルモノノツデアリマス、帝國政府ハ昨年ノ春、加州ノ形勢ニ顧ミマシテ此議會ノ懸案トナツテ居ル法案ニ付キマシテ、米國政府ニ墊實ナル注意ヲ喚起スル必要ヲ認メマシテ、大統領ガ……

「ウキルソン」氏ガ大統領就任後、最近ノ機會、即チ三月五日ヲ以チマシテ大使ヲシテ大統領ニ謁見イタセマシタ、兩國ノ傳來的ノ親交ニ顧ミテ、今加州ノ懸案トナツテ居ル如キ法案ニ對シテ、適當ノ手段ヲ採ラルコトヲ切望イテシタノデアリマス、大統領ハ大使ノ言フ所ヲ能ク領セラレマシテ、州ノ固有ノ權利ニ干與スルコトハ出來ナイケレドモ、力ノ及ブ限り帝國政府ノ切望ノ協フヤウニ盡力ヲ客マナイト云フ明言ヲ致シタノデアリマスガ、其後三月十三日ニ大使ハ更ニ國務長官ニ面會ヲシマシテ、同様ノ談判ヲ致シマシタ所ガ、大統領ト略同様ノ言明ヲ致シタノデアリマス、又加州方面ニ於キマシテハ、我領事ハ訓令ニ從ヒマシテ、此事件ニ付キマシテハ出來ルダケ手段ヲ講ジテ盡力ヲ致シタノデアリマス、又桑港博覽會、商業會議所其他有力ナル團體ニ於キマシテモ、又新聞ノ中ニモ此法案ニ反対ヲ致シタ者モアツタノデアリマス、其他、内外ニ於ケル日本人及米國人等ニシテ人道ヲ尊ビ國交ヲ重ンズル人々ガ滿足ナ解決ヲ得タイ爲ニ、本件ニ對シマシテ此間ニ色々ノ努力サレタノデアリマシテ、一時大勢ハ或ハ緩和セラレハセヌカト云フ望モ有チマシタガ、大勢ハ俄ニ急轉イタシマシテ、排日ノ勢力ハ益々加ハッテ來タ次第デゴザイマス、此場合ニ於キマシテ珍田大使ハ政府ノ訓令ニ依リマシテ四月十二日國務長官ト會見ヲ致シマシテ、又十五日大統領ニ謁見シマシタ、帝國政府ハ國家ノ面上、本件ヲ極メテ重大視シテ居ルト云フ趣意ヲ反覆述ベサセマシテ、法案ニ對シマシテ一層ノ努力アラムコトヲ切望イタシタノデアリマス、大統領竝ニ國務長官ハ何レモ深ク我主張ヲ容レマシテ、唯土地所有權ノ許否ガ州ニ專屬シテ居ルト云フ事柄ト、中央政府ト地方ノ當局者ト其政派ヲ異ニスルト云フ、此二ツノ事實ノ爲ニ、當面ノ解決ヲ甚ダ困難ニスル、併ナガラ我主張ニ對シテハ全力ヲ盡スベキ決心デアルカラ、其態度ハ宜シク帝國政府ニ傳ヘルヤウニト云フコトヲ申シタノデアリマス、四月十八日ニナリマシテ大統領ハ國務長官ニ命ジマシテ、加州知事ニ電報ヲ發シサセタノデアリマス、其趣意ハ友邦トノ親交ニ顧ミテ、此法案ヲ變更シテ歸化權ノ有無ヲ以テ此問題ノ標準トシナイヤウニト云フコトヲ勸告シテヤツタノデアリマス、ソレカラ其施スルコトニナツタノハ既ニ諸君ノ御承知ノ通リノ次第デアリマス、然ルニ此法ハ日本人ニ對シマシテ外國人ニ比ベマスト、差別取扱ヲ爲スト云フ實質ガアルノデアリマシテ、政府ニ於テハ之ヲ默視スルコトガ出來マセヌカラシテ、後大統領ハ四月二十二日、五月一日、此兩度ニ於キマシテ直接ニ加州知事ニ電報ヲ發シ、又國務長官ヲシテ五月ノ十一日ニ更ニ又電報ヲ發シサセマシテ或ハ法案ノ防止、或ハ法案ノ緩和ト云フ如キコトニ向ツテ提言シタノデアリマス、又其間ニ於キマシテ大使ハ屢々國務長官ニ面會シマシテ、此法律案ハ日米條約

ノ主義精神ニ悖ルモノデアルカラト云フ我主張ノ徹底スルヤウニ努メマシテ、又此差別取扱ノ條項ヲ加ヘタヤウナ法律案ノ成立タヌヤウニト云フコトヲ説カセタノデアリマス、茲ニ於テ大統領ハ遂ニ國務長官ヲ加州ノ都府ニ派遺スル議ヲ決シマシテ、四月二十八日ニ國務長官ハ「サクラメント」府ニ到着イタシタノデアリマス、到著スルヤ否ヤ兩院協議會ニ臨ミマシテ、中央政府ノ希望ヲ述ベマシテ、又色々調停的ノ提言ヲ致シ、法案ノ緩和ニモ努メマシタノデアリマスガ、知事及其一派ハ其盡力ニ動カサレルコトナク、其最初ノ主張ヲ翻サズニ、ドコマデモ州權ノ不干涉説ヲ唱ヘマシテ、遂ニ法律案ノ通過確定ヲ見ルニ至ッタノデアリマス、土地法案ガ加州ノ兩院ヲ通過イタシマスヤ否ヤ、政府ニ於キマシテハ第一回ノ抗議ヲ唱ヘマシテ、珍田大使ヲシテ米國政府ニ提出サセマシタノデアリマス、國務長官ハ我抗議ニ接シマシテ其翌、即チ五月十一日加州知事ニ電報ヲ發シマシテ、日本帝國政府ヨリ抗議ノアッタ云フ次第ヲ告ゲマシテ、サウシテ此土地問題ニ付テハ大統領ハ外交上ノ手段ニ依テ之ヲ處理スル爲ニ其斡旋ノ勞ヲ辭シナイト云フ趣意ヲ以テ、知事ノ反省ヲ求メマシテ、裁可ヲ中止スルコトヲ試ミタノデアリマスガ、知事ハ依然トシテ其法律案ノ必要ナコトヲ主張イタシテ、條約ニモ違背シナイト云フコトデ、遂ニサウ云フ回答ヲ國務長官ニ發シマシテ、遂ニ十九日ニ署名ヲ了スルコトニナツタノデアリマス、國務長官ハ此場合ニ於テ直チニ我抗議書ニ對スル回答書ヲ珍田大使ニ致シマシタ、其回答ノ要領ハ色々此法案ニ付テハ全力ヲ注イデ試ミルコトガアッタケレドモ、遂ニ確定ニ至ッタ云フコトニ付テハ遺憾デアルト云フ意ヲ表シタノデアリマス、サウシテ轉じテ此問題ハ全ク經濟問題デアリマシタコトニ付テ辯明ガ加ヘテアッタノデアリマス、政府ニ於キマシテハ此回答書ニ對シ勿論満足スルコトハ出來ヌノデアリマスルカラ、更ニ六月ノ四日第二回ノ抗議書ヲ國務長官ニ差出セタノデアリマス、其内容ハ矢張リ更ニ條約違反ノ廉ヲ一層詳細ニ指摘論議イタシマシテ、米國政府ノ注意ヲ求メタノデアリマス、七月十日ニナリマシテ國務長官ハ帝國政府ノ第二回ノ抗議書ニ對シマシテ其内ニ提議シタ事柄ニ付キマシテ、更ニ精細ノ辯駁ヲ加ヘマシテ、又其他此事件救濟ノ策トシテ二三ノ事項ヲ擧ゲマシテ、回答書ヲ寄越シタノデアリマス、帝國政府ハ其第二回ノ回答書ニ對シマシテ、之ヲ國務長官ニ送付シテ置イタ六日更ニ又第三回ノ抗議書ヲ編成シマシテ、之ヲ國務長官ニ送付シテ置イタ

ノデアリマス、此最後ノ第三回ノ抗議書ニ付キマシテハ、未ダ回答ヲ得マセヌノデアリマス、加州ノ土地法ニ付キマシテノ帝國政府ノ抗議、之ニ對スル米國政府ノ態度等ハ即チ今申上グル通りノ次第デアリマスルガ、其以上抗議書或ハ其内容ヲ今一層詳細ニ之ヲ此際申上グルコトノ出來ナイノハ甚ダ遺憾デアリマス、併シ帝國政府ニ於キマシテハ此問題ニ對スル米國政府ノ回答ニハ到底満足ガ出來ヌノデアリマスルカラシテ、此問題ノ解決方法トシテハ別ニ方策ヲ講ジナケレバナラスト認メテ居ルノデアリマス、此以上今日ノ場合ニ於テ述ベマスコトノ出來マセヌノハ甚ダ殘念ニ考ヘマス、終ニ墨西哥事件ニ付テ申上ゲテ置キマス、墨西哥ニ於キマシテ昨年ノ二月内亂ガ起リマシテ、「ウエルタ」將軍ガ假大統領ニナリマシタガ、其後國內ノ秩序ハ十分ニ保タレテ居リマセズ、諸方ニ騒亂ガ起テ居リマシタノデアリマスガ、十月ノ頃ニナリマシテ、「トレオン」ノ陷落ト共ニ事態ハ一層急迫ニナツテ參ッタノデアリマス、墨西哥ニハ帝國ノ臣民ハ凡ソ三千人モ今在留イタシテ、各、諸般ノ職業ニ從事シテ居ルノデアリマス、ソレデ其當時ノ有様モ此以上ドコマデ國內ガ亂レルカト云フコトモ、十分ニ豫測ガ出來ヌヤウナ狀態デアリマシタガ、併ナガラ豫メ帝國臣民ノ保護ノ策ヲ講ジテ置クコトハ忽ニスルコトハ出來スト考ヘマシテ、帝國政府ハ十一月ニナリマシテ軍艦出雲ヲ彼地ニ派遣スルコトニ決定イタシマシタノデアリマス、爾來出雲艦長ハ帝國公使ト我在留邦人ノ保護ノ儀ニ付キマシテ常ニ能ク意思ヲ交換イタシテ盡力ヲシテ居ルノデアリマス、此軍艦派遣ノ爲ニ帝國臣民ハ大ニ意ヲ強クシタト云フコトデアリマス、帝國政府ニ於キマシテハ墨西哥ノ國內ノ一日モ速ニ平定ニ至リマシテ、内外人ノ身命財産モ安全ニナルコトヲ偏ニ希望イタシテ居ル次第デアリマス、是ヲ以テ終ト致シテ置キマス

○村田保君 本員ハ外務大臣ニ少々御尋ヲ致シタイコトガゴザイマス、今日御演説ニナリマシタ中ノ日米問題ノ最後ノ所デゴザイマスガ、先日衆議院デ御演説ニナリマシタ所ト少シク違テ居ルヤウニ本員ハ思ツテ居ル、衆議院デメタノデアリマス、七月十日ニナリマシテ國務長官ハ帝國政府ノ第二回ノ抗議書ニ對シマシテ其内ニ提議シタ事柄ニ付キマシテ、更ニ精細ノ辯駁ヲ加ヘマシテ、又其他此事件救濟ノ策トシテ二三ノ事項ヲ擧ゲマシテ、回答書ヲ寄越シタノデアリマス、帝國政府ハ其第二回ノ回答書ニ對シマシテ、之ヲ國務長官ニ送付シテ置イタ六日更ニ又第三回ノ抗議書ヲ編成シマシテ、之ヲ國務長官ニ送付シテ置イタ六日更ニ又第三回ノ抗議書ヲ編成シマシテ、之ヲ國務長官ニ送付シテ置イタ

タガ、ソコヲ一々御確メ致シタウ存ジマス

〔國務大臣男爵牧野伸顯君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 村田君ニ御答イタシマスガ、衆議院ニ於キマ申シタ演説ノ趣意ト何等變ルコトハナイ積リデゴザイマス、米國政府ノ回答ニ付テハ満足スルコトハ出來ナイ、此場合ニ於テ他ニ方法ヲ講ズル必要ヲ認メテ居ルケレドモ、マダ其點ニ付テ明瞭ニ發言スルコトハ出來ヌ、斯ウ云フコトヲ今申シマシタガ、衆議院ニ於キマシテモ同様ノ趣意ヲ申シタ積リデゴザイマス

○村田保君 ソレハマア速記録ヲ御覽ニナレバ分リマスガ、併シ唯今段々此加州問題ニ付キマシテハ、是マデノコトハ縷々ト御話ニナリマシタガ、本員ナドノ考ヘマス所ハ、此事タルヤ今大臣ガ仰シャイマスガ、少シ餘リ政府ニ

於テ樂觀シ過ギタンデヤナイカト思フ、早ク此事ヲ注意イタシタラバ、是マデニナラヌカモ知レス、丁度火事ノヤウナモノ、燃出シタ時ニ消セバ早ク消エルガ、ソレヲ抛ヅテ置イテ燒ケタ跡デハ仕方ガナイ、丁度加州問題ハ本員ナドハサウ云フ考ヲ有ツテ居ル、實ニ初ノ内ニ隨分民間デモ如何ニモ政府ハ樂觀スル、幾ラ云ウテモ政府ハ大丈夫、此事ハ安心ヲシテ居レ、安心ヲシテ居レト云ツテ居ル内ニ遂ニ今日ノ場合ニ立到ツタ、ソレデ此事タルヤ實ニ外交官ノ甚ダ手緩イコトデハナイカト思ヒマスガ、外務大臣ハ如何御考ヘデアリマスカ、決シテ此事ト云フモノハ今考ヘテ見レバ遺憾デアツタ、手緩カッタト云フヤウナ御考ハチットモナインデアリマスカ、ソレヲ一ツ伺ツテ置キタイ

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 此問題ハ本年ニ始ツタ問題デハアリマセヌ、十數年來、毎年起ツタ問題デアリマス、善後策ニ付キマシテハ其時分ノ當局者ハイツモ容易ナラヌ苦心ヲ致シテ居ツタノデゴザイマス、本年モ政府ハ勿論内外人トモニ同情アルモノハ此問題ニ付キマシテ、餘程努力ヲ致シタノデアリマス、今日ニナリマシテ決シテ政府ハ之ヲ樂觀シタト云フコトハナイ積リデゴザイマス

○村田保君 其問題ハ暫ク措キマシテ、本員ナドハ實ニ外交官ガ機敏デアツタラ、斯ウ云フコトハナカラウト思ヒマスガ、其事ハナテ措キマシテ、是ハ日本國ノ甚ダ國辱ニナルコトデスカラ一ツ御尋シタイ、先日來衆議院ニ於キマシテ此加州問題ニ付キマシテ外務大臣ガ演説セラレマシタコトハ、ソレハアチラノ國務卿トカ、長官トカ或ハ大統領ニ示シテ承諾ヲ得タト云フコトヲ衆

議院デ申シテ居リマス、ソレニ付キマシテ外務大臣ハ否認サレテ居リマスガ、更ニ向ウカラ其事實……見セタト云フ電報ガアルト云フコトヲ以テ、向ウカラソレノ反證ヲ舉ゲテ居リマスガ、ソレハ如何デアリマスカ、此事ヲ事實明カニ御答ヲ願ヒタイ

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 外務大臣ノ演説ヲ前以テ米國政府ニ提出シテ、其承諾ヲ得タト云フコトニ付キマシテ、衆議院ニ於テ度々質問モアツタノデアリマス、其都度外務大臣ハサウ云フコトハナイト云フコトヲ斷言イタシテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテ電報ガ來テ居ルト云フコトデアリマスガ、ソレハ如何ナル電報カ、私ハ能ク承知イタシマセヌケレドモ、其電報ニ拘ラズ、私ハサウ云フコトハナイト云フコトヲ又繰返シテ申上ゲテ置キマス

○村田保君 ソレハサウダラウト思ヒマス、本員モサウ存ジマスル、獨立國ニ於テ……屬國ナラバサモアラムガ、堂々タル帝國ノ外務大臣ガ外ノ國ニ演説ヲ示シテ其承認ヲ得ルナドト云フコトハ、ヨモヤ我外務大臣デモサウ云フコトハナサルマイト存ジマスガ、尙一つ伺ヒタイノハ、速記録ヲ見レバ分リマスガ、最後ノ手段ヲ以テ是非解決スルト云フコトデアリマスガ、其最後ノ手段ト云フコトハ、他ノ方法ト云フコトハドウ云フコトデアリマスカ、ドウ云フコトコト以テ解決サレマスカ、本員ナドハ我兵力ヲ以テデモ解決ヲスルノマスガ、或ハ他ニ秘密ナル條約デモアツテ、ソレデ解決スルノヤラ、ソレガ甚ダヤラ、或ハ上不安心思フ、其他ノ方法ト云フコトガアリマスカラ、其他ノ手段方法ト云フコトニスレバ、兵力ヲ以テヤルカ、何デスカ、サウ云フコトガナクテハナラヌ、併シソレハ外務大臣ハ此上ノ事ハ云ヘヌトイツモ言ハレマスガ、此上ノ事ガ云ヘヌナラバ、初メカラソシナコトハ言ハヌガ宜イ、中身ヲ見セナイデ箱バカリヲ見セルト同ジコトデアル、外務大臣ハイツモ其上御尋テ言ハヌガ宜イト思フ、其邊ヲ明カニ御答ヲ願ヒマス

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 私ハ此最後ノ決心ト云フヤウナ言葉ヲ使ツタコトハナイヤウニ覺エテ居リマス、又萬一如何ナル記憶違デ、サウ云フコトヲ申シタラ、ソレハ甚ダ誤解ノ種デアリマス、サウ云フ意味ヲ申シタ積リデシテ此加州問題ニ付キマシテ外務大臣ガ演説セラレマシタコトハ、ソレナラバ初力憚ルト云フコトノ如キハ、是ハ已ムヲ得ナイ次第デアリマス、ドウカ此問題

ヲ解決シタイト云フノガ政府ノ目的デアリマス、若シ細カク涉ツテ發表スルト、此問題ニ妨ガアルト思ヘバ、是ハ已ムヲ得ズ、遺憾ナガラ沈黙ヲ守ルヨリ仕方ガナイト思ヒマス

○村田保君 先ヅ外務大臣ハ此位ニ致シテ置キマスガ、本員ハ此頃衆議院パカリデナク世上一般囂々トシテ居ル、或ハ新聞ニ筆ヲ揃ヘテ言ウテ居ル、或ハ方々デ寄合ラシマストカ、或ハ演説會ヲ開クトカ、世上ニ喧マシイ所ノ海軍ノ腐敗問題、此事ニ付キマシテ海軍大臣ニ御尋シタイト思ヒマスガ、却テ海軍大臣ヨリ總理大臣ノ方ガ萬事初カラ能ク御心得ノコトト存ジマスカラ、ドウゾ是ハ總理大臣カラ御説明ヲ願ヒタ一ト思ヒマス、此事實ノ有無ヲ明カニ御示シニナリマセヌト、我ミハ甚ダ之ヲ遺憾ニ思ツテ居ル、實ニ帝國海軍ガ腐敗シテ居ルト云フコトハ實ニ帝國ノ侮辱是程甚シイコトハナイ、實ニ心外デ堪マラヌ、婦女子ト雖モ此事ヲ聞イタラ遺憾ニ思ハヌモノハナイ、總理大臣ハ定メシ非常ナ御心配、夜分モ寝ラレヌ程御心配ダト本員ナドハ推測シテ居ル位デアルカラ、ドウゾ十分ニ此有無ヲ御示ヲ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 村田君ニ一應申上ゲタイト思ヒマスガ、唯今ノ問題ハ牧野外務大臣ノ外交上ノ演説ニ對シテ質疑ヲナサレタコトト議長ハ認メ

テ居リマス、海軍ノ問題ハ本日ハ出テ居リマセヌ、ソレデ決シテ議長ハ村田君ノ熱心ナル海軍ノ問題ニ付テ政府ニ御質問ニナルコトヲ御止メ申スノデモ何デモナイノデアリマス、本日ハ其時機デナイト思ヒマスカラ、質問ヲ政府ニナサリタケレバ議院法ノ命ズル所ニ依ル手續ヲ御採リニナラムコトヲ望ミマス

○村田保君 唯今問題外ト云フコトハ本員ハ領承シマシタ、謹デ承知イタシマシタ、併シナガラ總理大臣ガ茲ニ出テ居ラレテ、今日斯ノ如ク世上デ紛々喧マシイ、容易ナラヌコトヲ云ウテ居ルノヲ總理大臣ガ黙ツテ居ラレルトハ何事デアリマスカ、我ミハ非常ニ不安ニ思ツテ居ル、大切ナル事ヲ總理大臣ガ御出席デアリナガラ、ソニニ默ツテ默々然トシテ座ツテ居ラレルノハ何事デアリシタト云フコトヲ御認デアリマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 總理大臣ノ御心ノ中ハ知リマセヌガ問題外ト思ヒマス、ソレハ別問題デアリマス

○江木千之君 私ハ外務大臣ノ演説ニ對シテハ日露ノ關係ニ付テ色ニ伺ヒタイコトモアリマスガ、恐ラクハ此議場ニ於テ明言セラレルコトハ出來ナイト、是ハ何レ豫算會議ノ祕密會ニデモ讓フテ置キマシテ、唯今加州間題ニ付キマシテ御説明ガアリマシタガ、其最後ノ御言葉ヲ能ク聽取兼ネタ、米國政府ノ態度ニ付テハ満足ハ出來ナイ、ソレデ他ノ方法ニ依ル外仕方ガナイ、斯ウ云フヤウナ御趣意デアッタト考ヘマスガ、他ノ方法ト云フノハ既ニ御考ヘニナツテ彼國ノ政府ニ提出セラレテアルノデゴザイマスカ、先般來御考中デ、唯今モ將來モ、マダ御考ヘニナルト云フコトデアリマスカ、ソコヲ一言伺ツテ置キタイト存ジマス

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 江木君ノ御尋ニ御答イタシマス、此加州問題ハ帝國政府ニ於テハ今日ノ場合結了イタシタトハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、從ツテ此件ニ付キマシテハ、爾來斷エズ意見ノ交換ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、是ダケヲ……

○男爵久保田讓君 私モ唯今ノ外務大臣ノ御演説ノ關係ヲチヨツト御尋イタシタウゴザイマス、加州問題ノ昨年來ノ事柄ハ政府モ國民モ俱ニ遺憾ニ感ジテ居ルノデ、非常ナ影響ノアルコトハ外務大臣ノ御演説ニモアル通り、發生以來今日ニ至ルマデ政府並外務大臣ノ焦慮盡力イタサレタコトモ縷々御申述ノコトハ本員モ御同情ヲ表シマス、唯斯ノ如キ事ガ再び起ツテ、又斯ノ如キ事ヲ繰返スヤウナコトガ生ズルヤウナコトニナリマシタナラバ、一層帝國ハ困難ノ位置ニ陥ラヌケレバナラヌト云フコトヲ憂慮イタスノデゴザイマス、此頃新聞ノ報ズル所ニ依リマスレバ、米國ニ於キマシテハ本年モ亦更ニ加州ノ外ニ斯ノ如キ問題ガ發生イタスヤウナコトガアリハシナイカト云フコトヲ承ハルノデアリマスガ、政府ハ此點ニ於テハ如何ニ御觀察ニナツテ居ラレマスルカ、其邊ヲ伺ヒタイノデアル、其伺ヒタイ趣意ハ再ビ斯ノ如キ事ガ發生シテ又一層ノ困難ヲ生ズルコトガアリテハナラヌト云フコトノ老婆心ヨリ承ハルノデアリマス、ドウカ其御考ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 其米國ニ於キマシテ中央議會及地方ノ議會等ニ於キマシテ排日案ノ現ハレマスコトハ、數年來見ル所ノ現象デアリガアルノニ、ソレヲ黙ツテ居ラレルノハ、ソレハ總理大臣ハ今日ノ海軍ハ腐敗ノ事モ能ク承知イタシテ居リマスガ、之ニ向テモ相當ノ手續ヲ致シテ居ルノ

デアリマス、唯本年ニ限テ特ニ從來ヨリモ著シク其傾向ヲ呈シテ居ルト云フコトハ遠ニ斷言ハ出來マイト考ヘテ居リマス、御憂慮ノ點ハ政府ニ於キマシテモ心配ヲ致シテ居ル點デアリマスカラ、再ビ昨年ノ如キ重大ノ問題ヲ見ナイヤウニト云フコトハ力ノ及ブ限リ盡力ヲ致シテ居ル次第デアリマス○子爵曾我祐準君 私モ外務大臣ノ御演説ニ付テ少シ伺ヒタイ事ガアリマス、江木君ノ申ナレマス通り、外交問題ニ付キマシテハ色ニ伺ヒタイ事モアリマスケレドモガ、軍事上ナドニ聯關シタ事ハ自然祕密ニ涉リマスカラ、此祕密ニ涉ル點ヲ御尋スルノデハアリマセヌ、唯支那事件ノ中ノ昌黎事件ハ意外ニモ日本ヨリ賠償金ヲ出ストカ、慰藉金トカ云フモノヲ出スガ如クニ新聞ニ見エマスガ、先刻ノ御演説中ニハ昌黎事件ハ甚ダ詳ナラヌヤウニ考ヘマスルニ依テ、改メテ昌黎事件ノ内容ヲ御尋イタシマス

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 昌黎事件ニ付キマシテハ、帝國政府ニ於キマシテハ、其事柄タルヤ關係軍人ガ正當防禦ノ手段ヲ執ツタト云フニ過ギヌノデアリマス、其結果、多少殺傷ノ結果ヲ見ルニ至ツタノデアリマス、併ナガラ政府致シマシテハ關係ノ軍人ハ正當防禦ノ手段ヲ執ツタト云フコトガ事實デアリマス、然ルニ支那ノ方ニ於テハ多少意見ヲ……見解ヲ異ニシテ居リマスノデ、ソレガ爲ニ支那政府ヨリ交渉シテ居ル次第モアルノデアリマス、此問題ハ茲ニ公表ヲ致シマセヌノハ、先方ヨリ交渉シテ居ル次第モアリマスノデ、其詳細ニ涉ル事ハ憚リマスカラ強ヒテ申サナカツタ譯デアリマス

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 事柄ハ大體當方ニ於テハ前申ス通り、正當防
禦ノ手段ヲ執ツタト云フコトノ態度ヲ執ツテ居リマス。コチラニ付テハモウ此
問題ハ大體ニ於テハ解決シテ居ルト見テ居リマス、併ナガラ支那政府ニ於テ
ハソレニモ拘ラズ、今ニ矢張リ度々外交上ニ於テ申込ガアルノデアリマス、
デアリマスカ

○男爵石黒忠惠君 私モ唯今ノ外務大臣ノ報告ニ付テチヨット御尋ヲシテ置キタイノハ南京事件デアリマス、南京事件タルヤ、我帝國ノ陸軍士官ガ軍服ヲ著シマシタ儘捕ヘラレマシテ、サウシテ數時間監禁ヲサレマシテ、此處ニ於キマシテハ公言スルニ忍ビザル程ノ侮辱ヲ受ケテ居ルヤウニ聞及ビマスガ、何カ私ドモガ考ヘテ見マスト、斯ル場合ニ正當防禦ノ爲ニハ、刃ニモ訴

マスガ、右等ノ事ニモ至リマセヌデ、我國ガ引取フタ、之ニ付キマシテハ何カ
外交上ニ於テ帝國ノ軍服ヲ汚シテモ忍ブヤウニト云フ御訓令デモ出テ居リマ
スルカ、ソレニ付キマシテハ陸軍大臣ニ或機會ニ於テ質問イタサウト存ジテ
居リマスガ、幸ヒ今日ハ外務大臣ガ外交上ノ事ニ付テ御報告ガアリマシタ故
ニ、外交上ニ付テ特ニ御訓令ニナツテ居リマスモノデアリマスカ、サウ云フ事
ハ一切ナイモノデアリマスカ、一言伺フテ置キマス

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 左様ナ訓令ハゴザイマセヌ

○江木千之君 唯今石黒男爵ノ質問ニ對シテ御答ガゴザイマシタガ、其時ノ
陸軍軍人ノ處置ハ當ヲ得タルモノデアルト政府ハ御認ニナツテ居リマスカ、如

○國務大臣（男爵牧野伸顯君） 其時ノ……一應伺ヒマスガ、其時ノ……
○江木千之君 軍隊ヲ派遣シテ居リナガラ、斯ノ如キ軍服ヲ著ケタ將校ガ悔
辱ヲ受ケテ其儘ニシテ居ッタト云フコトハ當ヲ得タモノデアリマスカ、アレダ
ケノ軍隊ヲ有ッテ居リナガラ、ナゼ臨機ノ處置ハ出來ナカッタラウカ、其軍隊
ノ動作ト云フモノハ當ヲ得タモノデアルト御考ヘデアルカ、ドウカト云フノ
デアリマス

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 唯今ノ御問ニ對シマシテハ陸軍大臣ヨリ御答ヲ致シタ方ガ宜シカラウト考ヘマス

○男爵久保田譲君 私ハ唯今ノ問題ノ外ノコトデアリマスガ、モウ外務大臣ノ御演説ニ付テノ質問ハナイカノヤウニ考ヘマスカラ、外ノコトヲ發言イタスコトヲ御許ヲ請ヒタイト思ヒマス、幸ヒ今日ハ總理大臣初ヌ各大臣モ御出デアリマスカラシテ、此席ニ於テ議事ノ進行上ニ付テ一言申述ベタイト思ヒマス、御許ヲ請ヒタイト思ヒマス、宜シウゴザイマスカ

○男爵久保田譲君 私ノ議事ノ進行上ニ付テ申述ベタイコトハ、本年ニ限フタ
コトデアリマセヌガ、例年議會ノ初ニ於キマシテハ政府ガ議案ヲ貴族院ニ提
出イタサレルコトハ甚ダ稀デアリマス、從ツテ本會議ヲ開キマスコトモ貴族院
ハ至ツテ少イノデアリマス、殆ド會期ノ半頃マデハ無事閑散デアリマシテ、何
等ノ重要ノ議事モゴザイマセヌ、豫算案ヲ本院ニ廻付セラル、頃ニナリマシ

テカラ、續々政府カラモ法律案ノ提出ガアリマス、尙最後期日ノ切迫ヲ致シタトキニ於テハ一層重大ナル案ヲ持出サレルコトガアリマシテ、本員ナドハ此議案ヲ精讀スル暇モナクシテ、賛否ヲ決セヌケレバナラヌト云フ場合ガ往々アリマス、是ハ例年殆ド同ジャウナ有様デアリマス。本年モ今日マデ政府ガ案ヲ提出セラレマシタ所ノモノハ、僅少ナ案ガ二三ニ止マツテ居リマス、本年ハ本院ニ於キマシテハ外交、軍事、財政ニ付キマシテ餘程慎重ニ審議ヲ致サヌケレバナラヌ問題ガアルト考ヘテ居リマス、殊ニ財政ノ問題ニ付キマシテハ國民舉^ツテ憂慮イタシテ居ル點モ少カラヌコトデアリマシテ、即チ此豫算案竝豫算案ニ附帯シタ所ノ財政ニ付キマシテハ慎重審議ヲ致サヌケレバナラヌト云フ考ヲ有^ツテ居リマス、デ此際豫算案ハ未ダ衆議院ニアリマシテ、本院ニ送付ニハナリマセヌガ、豫算案ヲ一見イタシマスレバ、昨年來懸案ニナッテ居リマス所ノ營業稅ニ關スル所ノ財政ノ經畫ハ未ダ見ルコトガ出來マセヌ、昨年所得稅營業稅ノ案ヲ政府ガ本院ニ廻サレマシタノハ議會閉會僅ニ數日前ノコトデアリマシテ所得稅ヲ議スルスラ十分暇ガナイ程^ズ、最後ノ日ノ夜分ニ至ルマデモ議シタカニ覺エテ居リマス、同時ニ營業稅ノ案モ衆議院カラ本院ニ廻^ツテ居リマス、政府ハ是ハ已ムヲ得ヌケレバ同意ヲ表スルト云フコトヲ以テ本院ニ廻サレマシタ、私ハ其時ニ政府ニ御忠告ヲ致シマシタ、抑、此減稅ト云フコトハ實ニ是ハ重大ナ國家ノ財政上ノ問題デアル、減稅ト云フコトハ増稅ト云フコトト殆ド輕重ノナイ問題デアル、然ルニ斯ノ如キ僅少ノ時日ニ於テ施行期限ヲ變更シ、新タニ又衆議院ノ案ニ容易ク同意ヲセラルルト云フコトハ如何ナル次第デアルカ、甚ダ是ハ政府ノ爲ニ取ラヌ所デアルト云フヤウナコトヲ申述ベタコトモゴザイマシタ、兎ニ角當時ニ在^ツテ、貴族院ノ委員ニ於キマシテハ、營業稅ハ到底審議スルコトガ出來ヌト云フコトデ、遺憾ナガラ議スルコトガ出來ズ、未決ニ了^ツタノデアリマス、其時ニ於テ政府ハ既ニ營業稅ノ案ニ同意ヲセラレテアツタノデ、然ラバ本年ノ議會ニ於テハ劈頭第一ハレテ居リマセヌ、併シ本員ノ見マス所ニ依リマスレバ、豫算ノ經畫即チ財政ノ經畫ハ決シテ本年ノ豫算ニ現ハレテ居ル數字ノミデナクシテ、將來考慮ヲ費サヌナラヌ問題デアラウト存ジマス、政府ノ示サレタ所ノ意見ニ依リマスレバ、營業稅ハ本年ヨリ施行スルコトハ出來ヌ、來年ヨリ施行スル積リデ

アルト云フ意味ガ現ハレテ居ルヤウニ存ジマス、ソレデ本年ノ豫算ニ直接關係ガナイ如クニ見エテ居リマス、併ナガラ本年ノ豫算ヲ審議研究ヲ致ス上ニ於キマシテハ減税ノ經畫ト云フコトハ俱ニ併セテ考慮ヲ致シマセヌケレバ、本年ノ豫算ノ經畫ノ贊否ヲ決スルコトガ出來ヌ問題デアラウト考ヘマス、ソレ故ニ本員ノ希望イタス所ハ、ドウゾ斯ノ如キ將來ニ大ナル關係ヲ有ツテ居ル財政問題ナドニ付テ法案ヲ御出シニナリマスナラバ、成ルベク早ク法案ヲ御出シニナルヤウニ致シタイ、殊ニ財政ニ關係ヲ致シテ居ル營業稅其他減税等ニ關係スル法案ガゴザイマスルナラバ、少クモ豫算ヲ本院ニ御廻シニナル前若クハ同時ニ衆議院ナリ貴族院ナリニ御提出ニナリマシテ公ニナリマセヌト、本院ニ豫算ヲ交付ニナリマシテモ之ヲ研究スル大切ナ参考ノ材料ガ闕ケテ居ルト云フコトニナツテ、遂ニ豫算ノ審議上ニ影響ヲ及ボシハシナイカト云フコトヲ憂慮イタシマス、ソレデ色モ政府デモ御都合モアリマセウケレドモ、ドウゾ諸般ノ法律案ノ政府ニマダ提出ニナルモノガゴザイマシテ、貴族院ヘ御出シニナルモノガアリマスレバ、會期ノ終ニ於テ同時ニ澤山御出シニナルコトハ、成ルベク御総合セニナツテ、サウシテ今日カラ御出シニナルヤウニ致シタイ、殊ニ財政其他ニ付テ重要ナ問題ガアリマスルナラバ、ソレ等ニ相關聯シテ本院ニ於テ十分ノ餘地ヲ以テ審議研究ノ出來ルヤウニ御出シニナリタイト云フコトヲ希望イタスノデアル、唯今申述ベマシタコトハ私一人ノ考バカリデハナクシテ、多數ノ者ノ申合セテ居リ、考ヘテ居ル次第アリマス、併ナガラ今日總理大臣殊ニ大藏大臣ナドモ御出席ニナツテ居ルコトデアリマスカラ、本席ニ於テ此事ヲ申述ベテ、總理大臣並各大臣ニ於テ能ク此意ヲ御了解下サイマスレバ、其意味ヲ本議場ニ於テ明カニナルヤウニ御話シ下サルコトヲ希望イタスノデアリマス、元來本院ノ院議ヲ以テ議長ヲ經テ政府ニ申入レタイト云フコトガ本員等ノ希望デアリマス、併ナガラ今日各大臣ガ斯ク御出席デアリマスカラ、唯今縷々ト申述ペマシタ趣意ヲ御了解下サル以上ハ廉立ツテ院議ヲ以テ請求スルト云フ手續ヲ經ズシテ御了解下サルヤウニ致シタイ、是ダケヲ申述ベテ置キマス

マセヌ、極ク終ヒノ切迫シタ日ニ於テ廻サレマシタ爲ニ、審議スル間ガナクシテ止ミマシタノデアリマスカラ、蓋シ政府ハ本年ハ衆議院ニ御提出ニナッテ居ルコトデアラウト私ドモハ存ジテ居リマシタノデアリマス、無論、昨年貴族院ヘ廻シテ議スル時日ガナクシテ終リマシタ案デゴザイマスカラ、今年ハ開會早々ニモ御出シニナルコトデアラウト信シテ居リマシタノデアリマス、然ルニ未ダ出ヌト致シマスレバ、ドウ云フ御都合カハ存ジマセヌガ、久保田男爵ノ言ハレマス通リ速ニ御提出ニナラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今ノ久保田男爵ノ御述ニナリマシタ御希望ノ事ハ満場諸君ニ御異存ガナケレバ議長ヨリ其事ヲ政府ニ傳ヘマセウト存ジマス

○男爵久保田讓君 私ハ今日ハ總理大臣モ各大臣モ御出デノコトデアリマシテ、此事ハ左程ムヅカシイコトデハアリマセヌ、又何モ政府ヲ苦シメル爲ニ言フコトデハアリマセヌ、貴族院ハ貴族院ノ誠意ヲ以テ國家ノ爲ニ此議案ヲ研究シタイト云フコトヲ申スノデアリマシテ、決シテ難キヲ責メルノデモ何デモアリマセヌ、又衆議院ニ御出シニナルヤウニト要求イタスノデハアリマセヌ、前ニ申ス通リ院議ヲ以テ議長ヲ經テ政府ニ申入レタイト云フ希望モゴザイマシタガ、各大臣モ御出席ニナッテ居ルコトデアリマスカラ、御聞ニナッテ能ク御了解ニナッタラ、腹心ヲ吐露シテ此席デ御話ニナルコトト考ヘマス、若シ御話ガナイト云フナラバ公然ト決議ヲシテ議長ヲ以テ申入レルト云フコトニ致シマスガ、左様ナコトデナク、ドウゾ總理大臣カラデモ十分ニ腹心ヲ披イテ御話ニナルト云フコトニ致シタイ

○國務大臣(伯爵山本權兵衛君) 唯今久保田男爵ヨリノ御希望ニ對シテ、簡單ニ政府ノ意ノ在ル所ヲ申上ゲタイト思ヒマス、久保田男爵ノ政府ニ對シ御希望ノ點ハ、御趣意ノ在ル所ヲ能ク了承イタシマシタノデアリマス、政府ニ於キマシテモ昨年ノ如キハ誠ニ困難ノ際デゴザイマシテ、所得稅ノ如キ、營業稅法案ノ如キ、殆ド會期切迫シテ甚ダ無理ナル御注文ヲ致シタト云フコトヲ政府モ深ク承知イタシテ居ルノデアリマス、今回ニ於キマシテハ、爲シ得ルダケ成ルベク早ク整ヘテ之ヲ出シタイト云フ法案モ數アルノデゴザイマスガ、其多クハ重ニ豫算上即チ衆議院ノ方ニ前キニ相談ラセネバナラヌヤウナモノモゴザイマス、從來ノ慣例ト致シマシテ、成ルベク此貴衆兩院ニ對シテ分配ヲ能ク致シテ、サウシテ此法案等ノ御相談モ致シタイ考デゴザイマス、今營業稅法案ノ如キ一二ノ御質問ガゴザイマシタガ、是モ昨年差出シマ

シタ以來、種々ノ事情ニ對シマシテ十分ナ攻究ヲ其上ニ重ネマシテ、本年ハ必ズ是ナラバ宜カラウト云フコトニシテ……調査ヲ要シマス點モ少シバカリゴザイマス爲ニ、今マデ其運ビヲ致シテ居リマセナカツタ、尤モ近キ時日ニ於テ兩院ノ何レカニ之ヲ差出シマスコトニナリマス、其他ニ對シマスル御希望ノ在ル所ハ能ク了承イタシマシタカラ、成ルベク政府ハ爲シ得ラルルダケ御希望ニ副ヒタイト云フ考ヲ有ツテ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、災害地地租免除法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是迄通牒文ノ朗讀ヲ致サセマシタガ、別ニ御異存ガナケレバ朗讀ヲ省略イタシマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

〔左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載録ス以下之ニ微フ〕

〔左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載録ス以下之ニ微フ〕

災害地地租免除法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正三年一月二十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長大岡育造

災害地地租免除法

第一條 北海道又ハ府縣ノ全部又ハ一部ニ瓦ル災害又ハ天候不順ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畠ノ地租ハ納稅義務者ノ申請ニ因リ其ノ年分ニ限り之ヲ免除ス

前項ノ申請ハ被害現狀ノ存スル間ニ於テ其ノ事實ヲ證明シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二條 地目變換若ハ開墾成功ノ届出アリタル土地又ハ耕地整理工事完了シ地價ノ配當ノ申出アリタル土地ニシテ土地臺帳ニ登録セラレサルモノニ付テハ其ノ成功地目カ田畠ナルトキハ現地租ニ付前條ノ規定ヲ準用ス但シ耕地整理ノ場合ニ於テ免除スヘキ地租ノ金額ハ配賦スヘキ地價ニ依リ算出シタルモノトス

第三條 被害ノ調査中ハ其ノ年分地租ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第四條 第一條又ハ第二條ノ規定ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納

稅資格中ヨリ之ヲ控除セス

附則

第五條 本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第六條 明治三十四年法律第二十七號及明治三十六年法律第三號ハ之ヲ廢止ス

第七條 本法ハ本法施行前一年内ニ北海道又ハ府縣ノ全部又ハ一部ニ瓦ル災害又ハ天候不順ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畠又ハ第二條ニ該當スル土地ノ地租ニ之ヲ適用ス但シ明治三十四年法律第二十七號又ハ明治三十一年法律第三號ニ依リ地租ノ免除又ハ年賦延納ヲ出願シ不許可ト爲リタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ免租ノ處分ヲ受ケムトスル者ハ大正三年五月三十一日限り被害ノ事實ヲ證明シテ之ヲ申請スルコトヲ要ス但シ明治三十四年法律第二十七號又ハ明治三十六年法律第三號ニ依ル地租ノ免除又ハ年賦延納ノ出願ハ本法ニ依ル地租ノ免除ノ申請ト看做ス

第八條 明治三十六年法律第三號ニ依リ許可シタル延納年賦金ニシテ未タ徵收セサルモノハ之ヲ免除ス

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 災害地地租免除法案ニ付キマシテハ提出ノ理由ヲ簡單ニ説明ヲ致シマス、現行法ニ於キマシテハ、此田畠ノ收穫ノ皆無ニナリマシタル場合ニ於キマシテ、地租上ノ救濟ノ方法ト致シマシテハ水害ニ因ルモノニ付キマシテハ地租ヲ免除イタスコトニナツテ居リマス、水害以外ノ災害又ハ天候不順ニ因ルモノニ付キマシテハ地租ノ延納ヲ許可イタシテ居リマス、サウ云フ規定ニナツテ居リマスノデ、彼是權衡ヲ失ツテ居リマス、又公平ヲ顧イテ居ルト云フノ批難モゴザイマシテ、毎年衆議院ヨリハ此法律案ノ提出ヲ見ル次第ゴザイマス、抑、此收穫皆無ノ場合ニ於キマシテハ、水害ニ因リマスルモノト否トヲ問ハズ 地租ヲ免除スルノ必要ヲ認メタ次第ゴザイマシテ、ソコデ此案ヲ提出イタシタノデゴザイマス、而シテ此適用ニ至リマシテハ、一年以前ニ遡リマシテ、昨年ニ於キマスル東北其他ノ凶作地ニ對シマシテ、地租ヲ免除イタサムトスル考デゴザイマス、御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、改租延納年賦金免除ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

改租延納年賦金免除ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正三年一月二十九日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

改租延納年賦金免除ニ關スル法律案

附則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 本案ニ付キマシテ簡單ニ説明ヲ致シマス、改租延納年賦金ト申シマスルモノハ、御承知アラセラレマスル通り、地租改正ノ當時其改租事業ガ遲延イタシマシタル地方ニ對シテ、假ニ舊ノ稅米ヲ基礎ト致シマシテ、地租額ヲ算出イタシマシテ、假ニ其納稅ヲ致サセタノデ、其納メサセマシタル金額ト、改租事業ノ完了ヲ致シマシテ確定イタシタル地租額トノ間ニ差ガゴザリマス、即チ其間ニ不足額ヲ生ジタ、其不足額ニ對シマシテ五十箇年以内ノ年賦ヲ以テ此差金ヲ追徵スルト云フコトニナツテ參ッタノデゴザイマス、初ハ其不足ノ差額ハ無慮八百萬圓ゴザイマシタ、現今ニ至リマシテハ其未納額差額ハ僅ニ二千圓バカリニナツテ居リマス、而シテ此納稅ノ人員ハ尙二千六百人ニモナツテ居リマスデス、今後尙二十年ノ年賦ヲ繼續スルコトニナツテ居リマス、斯ノ如キ永キ歲月ニ瓦リマシテ、多數ノ人ヨリ此少額ノ整理ノ趣旨ヲ以チマシテ、此未納ノ年賦金ハ之ヲ免除イタシタイト云フ考ヲ託シテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 此法律案ハ前ノ災害地地租免除法案ト同一委員ニ付

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三、帝國大學特別會計法中改正法律案、
政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ナルモ參照ノ爲茲ニ載錄ス〕

帝國大學特別會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年一月三十日

右特別委員長

子爵 榎本 武憲

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔子爵榎本武憲君演壇ニ登ル〕

○子爵榎本武憲君 唯今日程ニ上リマシタ帝國大學特別會計法中改正法律案ニ對シ委員會ノ議決ヲ御報告イタシマス、本案ハ行政整理ノ爲東京帝國大學及京都帝國大學ニ對スル既定ノ政府支出金ヲ減少スルノ必要ヨリ提出セラレタルモノデゴザイマス、即チ東京帝國大學ニ對シマシテハ、毎年政府ノ支出金百三十八萬圓ノ内ヨリ五萬圓ヲ減額イタシ、京都帝國大學ニ對シマシテハ政府ノ支出金八十四萬圓ノ内ヨリ二萬圓ヲ減額イタサウト云フ趣旨デゴザイマス、而シテ此減額ハ如何ナル費目ヨリ之ヲナスカト申シマスルト、當局ノ説明ニ依リマスレバ、東京帝國大學ニ於キマシテハ營繕費ニ於テ理科大學教室新營費、大正三年度年割額九萬五千四百三十六圓ノ内ヨリ四萬六千圓ヲ後年度ニ繰延ベ、尙不足額四千圓ハ收入增加額ヲ以テ補填イタシマス、又京都帝國大學ニ於キマシテハ經常費ヨリ一万百八十八圓ヲ節減イタシマス、其内譯ヲ申シマスルト俸給ニ於テ五百八十圓、廳費ニ於テ七千百圓、雜給及雜費ニ於テ二千五百八圓ヲ節減イタシ、尙不足額九千八百十二圓ハ收入增加額ヲ以テ補填イタシマス、委員會ニ於キマシテハ此減額ヲナス費目ニ關シ二三ノ質問應答ノ後、全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、右御報告申上ゲマス

〔伯爵柳澤保惠君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 柳澤伯爵ハ何デスカ

○伯爵柳澤保惠君 委員長ニ質問イタシマス、此案ハ僅ノ減額デゴザリマスルガ、是ダケノ減少ヲ致シマシテモ、學術ヲ研究スル所ノ最大ノ根源タル兩大學ニ於テ將來モ差支ナイノデアリマスルカ、今年度ダケハ七萬圓ホド減少シテ置キマシテ、又來年ニナッテ舊ニ復スト云フ考デアリマスカ、將來ニ於キマ

シテ此減額ノモノヲ以テ十分兩大學ノ發展ヲ期セラレルノデゴザイマスカ、其邊ノ御審議ガゴザイマシタラ伺ヒマス

○子爵榎本武憲君 委員會ニ於テ御質問通リノ審議ハゴザイマセヌ。シタガ、ソレニ類似ノ質問ガゴザイマシタガ、ソレニ對スル當局ノ答辯ハ此減額ヲ以テ將來差支ナク學術ノ研究等ヲ行フコトガ出來ルト云フ答辯デアリマシタシテ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

○江木千之君 本案ノ趣旨ハ簡單明瞭ナルモノデアリマスカラ、讀會ヲ省略

○子爵野村益三君 讀會省略ニ賛成

○鎌田榮吉君 賛成

○子爵井上匡四郎君 賛成

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○男爵原口兼濟君 賛成

○谷森眞男君 賛成

○男爵武井守正君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○男爵關義臣君 賛成

○男爵阪井重季君 賛成

○子爵前田利定君 賛成

○田邊輝實君 賛成

○男爵津田弘道君 賛成

○男爵内田正敏君 賛成

○男爵尾崎麟太郎君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 江木君ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請

ヒマス 起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス
起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス、書記官ヲシ
テ朗讀イタサセマス

〔東久世書記官朗讀〕

災害地地租免除法案外一件特別委員

伯爵德川達孝君 子爵稻垣太祥君 子爵水野直君
男爵目賀田種太郎君 男爵小早川四郎君 男爵坪井九八郎君
石井省一郎君 杉田定一君 木村誓太郎君

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ決定次第、本院彙報ヲ以テ御通知
ニ及ビマス、本日ハ是デ散會イタシマス

午前十一時四十一分散會